

食肉衛生検査所だより

令和2年度
◆第1号◆



令和元年度と畜検査状況

福岡市食肉衛生検査所では、農場から運ばれてきた牛と豚を、検査員（獣医師）が一頭ずつと畜検査をしています。検査で病変が見つかった場合、一部廃棄（病変部のみ廃棄すること）や、全部廃棄（重度の病気により一頭丸ごと全て廃棄すること）となります。

令和元年度（H31.4.1～R2.3.31）の検査状況は以下のとおりでした。

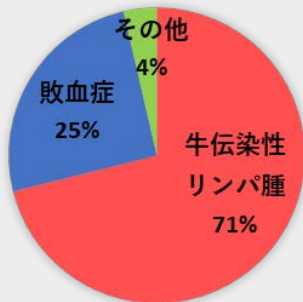
	検査頭数	一部廃棄頭数	全部廃棄頭数(検査頭数に対する割合)
牛	23,353	15,679	83 (0.4%)
豚	128,898	98,289	94 (0.1%)



全部廃棄理由で最も多い病気は、牛では牛伝染性リンパ腫（59頭）、豚では敗血症（47頭）でした。



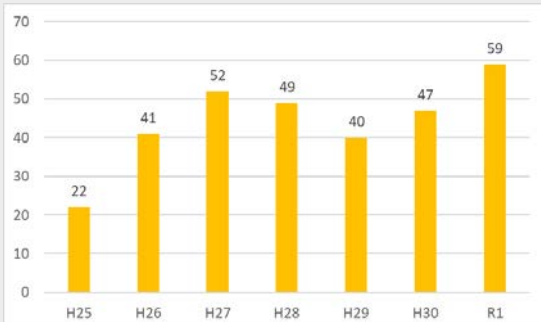
牛の全部廃棄理由



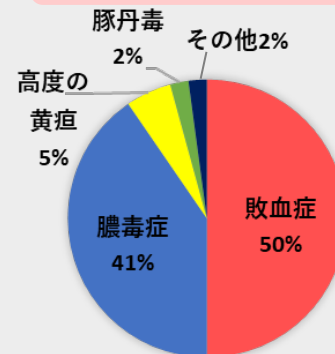
牛伝染性リンパ腫（牛白血病）

リンパ球の悪性腫瘍（いわゆる“がん”）です。牛伝染性リンパ腫ウイルスに感染した牛の数%が発症します。発症した牛ではリンパ節の腫大や心臓、消化管などに腫瘍がみられます。

下のグラフは当検査所で見つかった牛伝染性リンパ腫の頭数を表しています。経済的損失も大きい上に、依然として増加傾向にあり、農場ではウイルスを運ぶ吸血昆虫対策や感染牛の隔離等、感染予防対策が進められています。



豚の全部廃棄理由



敗血症

体内に侵入した細菌が増殖した後、血液に乗って全身に回って引き起こされる病気の総称です。心臓のいぼ状病変や、複数の臓器に点状出血が見られます。牛・豚ともに全部廃棄となる病気のうち高い割合を占めています。

家畜伝染病の名称が変更されました。

家畜伝染病予防法一部改正法において、一部の伝染病の名称変更がありました。

【改正前】

【改正後】

牛白血病 → 牛伝染性リンパ腫

豚コレラ → 豚熱またはCSF

アフリカ豚コレラ→アフリカ豚熱またはASF



福岡市食肉衛生検査所

〒812-0055 福岡市東区東浜 2-85-14
TEL:092-651-3404 FAX:092-651-9015